古谷「1軍」へ闘志

SB春季キャンプ ブルペンで50球

【宮崎】プロ野球の福岡ソフトバンクホークス入団2年目を迎えた幕別町出身の古谷優人投手（18）が4日、宮崎市生目の杜運動公園野球場で行われている春季キャンプ（1日～3月1日）でブルペンに入り投球練習で50球を投げ込んだ。古谷は「今年中には1軍で投げたい」と闘志をみなぎらせた。

昨秋、左手指先の痛みやしびれで胸郭出口症候群と診断され投球動作を回避した調整を続けていたが、年末には手術をせずに投薬治療で完治を目指すことを決めた。年明けには指先のしびれなどが消え、キャッチボールを行うなど順調に回復してきた。

第1クール4日目の午前中、斉藤学リハビリ担当コーチと共に同野球場のブルペンに入った。古谷は「胸郭出口症候群をしっかりと治し、自分が納得した状態で1軍のマウンドに上がりたい」とキャンプでの目標を見据えていた。

（内形勝也）

ブルペンに入り、50球を投げ込んだ古谷優人投手（4日・宮崎市生目の杜運動公園野球場）